年間授業計画　様式

高等学校 令和７年度（3学年用） 教科　国語　科目　論理国語

教　科：　国語　　科　目：　論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（１組：中西　）　（２組：中西　）　（３組：平井　）　（４組：中西　）　（５組：平井　）

使用教科書：（ 新編論理国語　東京書籍　　）

教科　国語　　指導の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　論理国語　　指導の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	『最初のペンギン』 タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして，自分の生き方について考える。	１本文を通読し，初読の印象を挙げる。 ２「神ならぬ」や「有限の立場」などの語句，および「神」と「人間」の対立図式を確認し，第一段の内容を整理する。 ３生きるために，不確実性のもとで決断し，海の中に真っ先に飛び込む「最初のペンギン」の行動の意味を確認し，第二段の内容を整理する。 ４「感情」「決断」「直観」等の意味を確認しながら第三段の内容を整理し，不確実性の中での決断の必要性と，感情の技術を磨く必要性を理解する。	○		○	［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 ［主］積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り，今までの学習を生かして自分の経験を振り返り，これからの生き方について考えようとしている。	○	○	○	8
	論理とは何か ・書かれている内容を理解し，「論理的」とはどういうことかを学ぶ。	・狭い意味での論理について，【例１】から「演繹」という推論の仕方を理解する。 ・広い意味での論理について，【問１】の文章から考え，「論理的」であることの意味を解説とともに確認する。			○	［知技］ ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ［主］進んで演繹的な推論について理解し，学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。	○	○		2
	定期考査						○	○		1
	『カフェの開店準備』 ・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして，自分の日常を見つめ直す。 ・紛らわしい漢字について理解する。	１本文を通読して，話の進め方について気づいたことを発表する。 ２具体例を挙げて説明している部分を指摘する。 ３第一・二段に書かれている「喫茶店の開店準備」を巡っての筆者の考えを理解する。 ４楽器の演奏に関する考察について理解する。 解し，そのことについて話し合う。 ５「行為の習慣化」について，筆者の考えをもとにして考える。				［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に				

		６「痕跡の残らない行為」に対する筆者の考えを理解し，そのことについてどう思うかを話し合う。 ７「紛らわしい漢字」を通読し，識別の方法を理解した後，間違えやすい熟語や同音異義語の例についても併せて確認する。	○	○	○	捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，資料との関係を把握し，内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ［主］粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでその考えを理解し，学習課題に沿って自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ，話し合おうとしている。	○	○	○	10
	要約する力 ・「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し，適切に要約する力を養う。	・文章の「幹」（中心的主張）と，「枝葉」（読ませる工夫・分かりやすくする工夫・根拠を示す「太い枝」）という構造を理解する。 ・文章を「根」（問い）と答えの構造を持つものと捉えることを理解し、【問７】の要約作業を通して，文章構造への理解を深める。 ・「要約するための五つのステップ」を読み，要約する手順とポイントを理解する。		○		［知技］ ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ［主］進んで論理的な文章の構造を理解し，学習課題に沿って中心的主張を捉えた要約の方法を理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
2学期	『ホンモノのおカネの作り方』 二つの例の対比に注意して論旨をたどり，貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。	１貨幣の本質，電子マネーの仕組み，円安・円高など，経済や貨幣に関する話題を適宜取り上げ，互いの知識や考えを発表し合う。 ２本文を通読して，取り上げられている話題と構成上の特色を確認する。 ３第一段の内容を確認し，文章全体との関係や構成の型，その効果について理解する。 ４第二段の内容を把握し，佐土原藩の偽造法の説明が持つ意味を確認し，ニセガネの本質を叙述に即して理解する。 ５預かり手形の仕組みと便利さを確認し，「ホンモノの代わり」がホンモノに代わる過程を理解する。 ６語義の確認を含めてここで言う「逆説」の内容とそれが発生する理由を理解する。 ７「その時々のホンモノ」「ホンモノの形而上学」などの語句に注意して，筆者の結論の妥当性を確認し，更にその結論を通して，筆者は何を言おうとしているのかを考える。	○		○	［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において，関連する文章や資料を基に，書き手の立場や目的を考えながら，内容の解釈を深めている。 ［主］進んで筆者の示す問題提起と結論を具体例から読み取り，学習課題に沿って抽象的な「貨幣」というものの本質について，経済の仕組みとともに理解を深め，話し合おうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	『もう一つの知性』 科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し，現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。	１「情報化社会」とはどのような社会を言うのか。また，情報化社会で重要なことは何か，意見を述べ合う。 ２第一段Ｐ272・5行目までを音読し，表現に即して内容を読み取る。 ３第一段の後半部分を音読し，例として挙げられている事項・用語を「情報通」と「知性」の二つのグループに分類する。 ４「この小学生がお父さんより知的な人間とはいえない」といえる根拠として，本文で述べられていることをまとめる。（論理の力） ５「血肉になっているような情報」「服のポケットにたくさんの紙片を詰め込んでいるような知性」などの比喩表現を理解する。 ６アメリカの先住民や医療現場の話を題材に，科学技術の発達とともに知性がどう変化したか，またトルストイの人生論の話は，どのようなことを説明する目的で紹介されているのかを考えてまとめる。 ７第三段を読み，冒頭の一文の役割を確認するとともに，Ｐ276・	○		○	［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 ・「読むこと」において，設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に，必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたり	○	○	○	8

		１行目までを読み，「アリコラージュ」的な知とはどのような知の在り方を言うのか，読み取る。 ８後半部分を読み，本教材における筆者の主張を理解する。				している。 ［主］積極的に論拠をたどることで筆者の述べる本来の「知性」の在り方を理解し，今までの学習を生かして自分たちが現代社会を生きるうえで筆者の提案をどのように結び付けることができるか，話し合おうとしている。				
	仮説を立てて検証しよう ・仮説を立てて検証し，検証過程を文章にまとめる。	・「学習の流れ」を読み，活動のポイントの見通しを持つ。 ・「高校生の読書」について仮説を立てて検証し，検証の過程を文章にまとめた例を参考に，学習の進め方を理解する。	○	○		［知技］ ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 ［思判表］ ・「書くこと」において，実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について，書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集，整理して，目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 ・「書くこと」において，多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にしている。 ・「書くこと」において，個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど，文章全体の論理の明晰さを確かめ，自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。	○	○		3
	定期考査						○	○		1
３学期	『ロボットが隣人になるとき』 ・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで，人間の意志や自由について理解を深める。 ・的確な表現の仕方について理解する。	１「意志」「自由」という言葉の意味に注意しながら，本文を通読する。 ２「この問いは，単純な技術の問題ではない。」とあるが，なぜそういえるのかを読み取る。 ３「近年のAIの発展はこのイメージを崩しつつある。」とは，どのようなことかを読み取る。 ４「『意志』と『欲求』を比較してみよう。」とあるが，意志と欲求はどのように異なるのか読み取り，まとめる。 ５「『意志』というのは約束に似ている」（Ｐ223・３）と筆者が考えるのはなぜか，読み取る。 ６「ロボットは社会的な存在になれるだろうか。」（Ｐ224・５）という問いに対する筆者の考えを読み取る。 ７「対等の隣人」とあるが，どのような点で対等なのか，筆者の考えを読み取る。（手引き６）	○		○	［知技］ ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ［思判表］ ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 ［主］積極的に筆者の哲学的な思考を，「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し，学習課題に沿って人間の意志や自由について考えを深め，意見を述べようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
										合計 55